



- ◇ 9月24日 秋の町内一斉清掃 ◇ 10月21日、22日 桜台フェスティバル
- ◇ 11月5日 市原市総合防災訓練 ◇ お助けマンって ご存じですか

秋の町内一斉清掃 9月24日

9月24日に町内一斉清掃が行われました。春の一斉清掃で綺麗になっていた桜台通りでしたが、道の植え込みに雑草が目立ち始めて、秋にも一斉清掃を行っていかうと実施されました。この日は、秋とは思えない暑さで、皆さん汗だくでしたが、それでも明るい笑顔が絶えませんでした。綺麗な桜台をイメージして一生懸命に歩道・植え込みに分かれて、草取りとポイ捨てゴミの回収を行って頂きました。皆さんのおかげで、通りが以前の様にスッキリしました。参加された皆さんは、お疲れ様でした。



清掃作業の様子

桜台フェスティバル 10月21日、22日

秋らしくなった10月21日、22日の2日間に渡って桜台フェスティバルが桜台自治会館で開催されました。1Fのホールには、素晴らしい創作物がズラリと並び、駐車場では、可愛い子供たちが営む子供マルシェと花ボランティア

アや有志の方々の運営する青空市場を開催。前庭では、11月5日に行われる総合防災訓練の前倒し訓練として防災炊飯袋のたける君を使って防災訓練をしたり、無料で提供されたおいしいカレーライスを食べたりと、秋晴れの中、たくさんのお客様が来場して大盛り上がりでした。



1F ホールには、書道や和小物、陶芸、絵画、デコパージュなど、85点の個性溢れる素晴らしい創作作品が展示されました。作品はどれを取っても魅力的で、とても趣味で創作しているとは思えない程の非常に素敵なもので、芸術の秋にぴったりな展示会になっていました。

創作作品展示





来場していただいたお客さんは見事な出来栄えの作品たちに目が釘付けとなって作品たちも多くのお客さんに見ていただけて大喜びしている様子が感じられてました。鑑賞された皆さんは物を作る楽しさを感じていただけたでしょうか物作りの世界と一緒に感じて楽しみたいと思えるような空間でした。



1F ホール展示の様子

晴れの日に恵まれて、お出かけ日和の中、駐車場でかわいい声でお客さんを呼び込む子供たちが営む「子供マルシェ」が開催されていきました。野菜やお菓子、雑貨などがたくさん販売されていきました。

子供たちもやる気満々で積極的に自分たちから提案して作って来た可愛い看板を持ち寄って気合十分でマルシェの販売員に挑戦してました。可愛い売り子さんたちにお客さんも引き寄せられて子供マルシェ、青空市場は大賑わい。



子供たちの手づくりポスター



なかでも目玉商品は、今高値が続いている大根をJAさんの協力で、なんとビックリ！破格の180円で提供！すると、あっという間に長蛇の行列が出来、飛ぶように売れて30分とかからないうちに売り切れと大盛況でした。

来年のマルシェでは、数回にわけてタイムサービスで野菜の販売をしてもおそらく、あっという間に売れてしまうのでしょうか。なぜなら子供たちは想像以上に商売上手すぎるから。

青空市場では、花ボランティアや有志でお店を開いて下さった方々によって、手芸品や草木の苗などが売られていて、こちらも好評で多くのお客様で賑っていました。



前庭では、11月5日に実施される市原市総合防災訓練の前倒し訓練として炊出訓練が行なわれ、多くのお客様に体験して頂きました。

実際に、お米を入れた防災炊飯袋「たける君」をお釜で沸かしたお湯で茹でてお米を炊く模擬体験も行われていました。見たことのないお米の炊き方に、



お客さんは興味津々で、皆さん楽しそうにお米の詰め込みやお湯に投入する体験を行っていました。



「たける君」で炊いたご飯は、カレーライスにして無料でお客さんに提供されました。今回提供された 250 皿のカレーライスは、あっという間にお客さんのお腹の中に収まって、ここでも食欲の秋を満喫していたようです。



訓練・カレーライスの提供

市原市総合防災訓練
11月5日

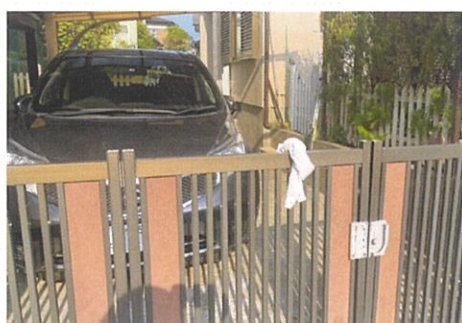
グラッときたら！11月5日に市原市総合防災訓練が開催されました。当日は、午前9時に地震が発生したと想定した、防災行政無線の放送を合図にして、避難訓練が実施されました。

マグネチュード7、3 震度6の地震を想定し、防災無線から放送が流れました。揺れが収まるのを待って、各町内の班長さんは安否確認タオルの取付け状況を確認しました。その後、避難所に指定された各公園に集合した住民の人数確認も行いました。参加者は半数以下でしたが、500人の方々の安否確認



公園での避難訓練の様子

ができました。596世帯がタオルを掲げ、ますますの結果でしたが少し不安を残す結果となりました。解散をする前に避難訓練で集まった方々に今一度、シェイクアウト訓練と安否確認タオル掛けの重要性を説明して解散となりました。参加者の皆さん、お疲れ様でした。



安否確認タオル掛けの様子

ところで皆さんはシェイクアウト訓練と言うのがあるのをご存知でしょうか。シェイクアウト訓練と言うのは2008年にアメリカで始まった地震防災訓練です。指定された日時に家庭や職場、学校、外出先で、地震から身を守るために「3つの安全活動」を1分間行っていただくのが基本の訓練です。地震が発生したら、その場で安全を確保するための行動「姿勢を低く、頭を守り、動かない」を1分とってください。自分の身を守る行動をしましょう。



DROP!



COVER!



HOLD ON!

市原市では、防災の備えとして、「チェックリスト：備えの10項目」を設けて、市民の方の防災意識の向上に努めております。是非、参考に自宅の防災の備えの見直しを行なってみてはいかがでしょうか？

チェックリスト：備え10項目

- 家の耐震とタンス、テレビ、食器棚等は、しっかり固定されていますか。
- 懐中電灯・警笛・スリッパ（靴）を寝室に常備されていますか。
- 非常持ち出し袋（防災リュック）は各自で準備されていますか。
- ラジオと携帯電話は予備電池も準備されていますか。
- 最低3日分の非常食・保存水は自宅に備蓄されていますか。
- 常備薬は最低1週間分準備されていますか。
- 避難場所と避難所への避難経路（昼・夜）は事前に自分で歩いて確認されていますか。
- ハザードマップで地域の災害リスクを確認されていますか。
- 家族の連絡方法と合流場所は決めていますか。
- 「情報配信メール」に登録されていますか。

近いうちに起きるといわれている大規模災害に備えて、今一度、防災について、考えてみてみましょう。
災害が起きても慌てないように命を守る行動が取れるようにお過ごしください。

お助けマンって
ご存じですか？

「最近、腰が痛くて庭の草が伸び放題」「トイレの配管から水漏れで床がビショビショ」「台所のシンクが詰まった」「廊下の電球が切れたけど天井まで手が届かない」などお家の困り事は尽きないものです。こんな時、業者に頼むと出費が高くてなどの理由で二の足を踏んでしまわれるのではないのでしょうか。そんな事が起きる前に一度、「桜台お助けマン互助会」の存在を思い出してください。



”桜台お助けマン互助会”は、桜台では高齢化が進みひとり住まいのお方や夫婦だけの世帯が増加してきていて、不自由な生活をされているケースが多く

なっております。住みやすい桜台にして行こうと、平成 21 年 10 月に発足しました。

サービス内容は多岐にわたっていて、

- 1) 電球切れやパソコンの不具合などの照明・家電製品の点検修理
- 2) 水回りの点検補修、家具の移動や撤去などのお部屋の模様替えのお手伝い
- 3) 庭木の剪定や生垣の刈り込み、草取りなどのお庭のお手入れ
- 4) お買い物の代行やゴミ出し、雪かきなどの家事手伝い、病院やお買い物の送迎などがあります。

作業に至っては、丁寧かつ、迅速をモットーに行なっていて、なるべく利用される方々の金銭的負担にならない様に作業を進めておりました。



現在、利用会員が 150 人を超えて日々増加しております。桜台にお住いの自治会会員の皆様で、65 歳以上の方や、65 歳未満の方も病気や怪我でお体に障害をお持ちの方は、会員になれます。申し込む場合は、自治会館に入会申込書がございますので、用紙に記載して、提出頂くと後日、担当者がご自宅にお伺いさせていただきます。自治会会員の皆様も生活にお困りごとがあれば、ご相談されてみてはいかがでしょうか。

また、桜台にお住まいでないが、桜台に不動産をお持ちの方も環境保全関係から準会員として登録頂けます。